

樹勢が強い「シャインマスカット」に散布! メピコートクロリド液剤で副梢の本数と管理時間が減少します

【概要】

1 樹勢の強い「シャインマスカット」に、メピコートクロリド液剤（商品名：フランターラー液剤）1000倍液を開花前（展葉9～11枚期）150L/10a、満開20日後300L/10aの2回散布することで、副梢の発生本数が少なくなり、開花始期摘心作業の省略が可能となるなど、新梢管理作業時間を約3割減らすことができます（図1、図2、表1）。

満開起算 日数	展葉9～11枚期 (満開約14日前)	開花始期	満開日	～	5～7	～	10～15	～	満開20日後	21～
作業内容	メピコートクロリド 液剤散布 (1回目) 1,000倍(150L/10a)	摘心作業 省略	1回目 ジベ 処理 (25ppm)	果 軸 長 調整	2回目 ジベ 処理 (25ppm)	メピコートクロリド 液剤散布 (2回目) 1,000倍(300L/10a)	副梢管理 作業			

図1 「シャインマスカット」におけるメピコートクロリド液剤散布時期と各種作業との関係



図2 メピコートクロリド液剤開花前散布後の新梢 (R5.7.10・満開約20日後)

左：開花前散布（新梢長177cm 節数20節） 右：無処理（新梢長264cm 節数21節）

2 留意事項

- (1) 本成果は強樹勢樹を供試した結果です。満開約14日前の平均新梢長が70cm以下の場合、新梢伸長が停止する可能性があるため開花前散布を控えます。
- (2) 開花前のメピコートクロリド液剤散布により、樹勢等によっては着粒数が過剰となり、摘粒作業に時間がかかる場合があります。
- (3) 本成果を活用しても副梢の発生数が多い場合、過剰な施肥や過密な植栽間隔が原因である可能性が高いため、施肥設計の見直しや間伐を検討しつつ、樹齢や樹勢に応じて樹冠を拡大するよう努めてください。

【試験データ等】

表1 メピコートクロリド液剤の散布回数の違いが副梢発生本数と新梢管理作業時間に与える影響
(R4とR6の平均)

試験区	副梢発生本数 (本)			新梢管理 作業回数 (合計)	新梢管理作業時間合計		
	満開 20日後	満開 50日後	満開 80日後		(10新梢)	(3750新梢/10a)	③を100とした 場合の割合
①開花前+満開後散布	4.8	1.0	0.4	1.5	4分2秒	25時間14分	67%
②開花前散布	4.4	1.5	0.7	1.5	4分42秒	29時間22分	77%
③無処理	5.0	3.1	1.5	3.0	6分4秒	37時間55分	100%

【令和6年度成果】ぶどう「シャインマスカット」におけるメピコートクロリド液剤散布による副梢発生本数への影響と新梢管理作業の省力効果 (R6-指-08)